

おだがいさまらて〜

最終号
39号

【編集・発行】 東日本大震災ボランティアバックアップセンター

(毎月第4金曜日発行)

震災当初からご支援いただいた皆様から一言



日豊電資株式会社
総務部 部長
徳武 明 様

忌まわしい東日本大震災から早や3年が過ぎようとしておりますが、復興の掛け声が独り歩きをし、一向に進まない復興を思うと残念でなりません。この度、交流拠点「まわらんしょ」が活動終了とのことですが、長岡へ避難されて来ておられる方々との交流の場を提供できたことを喜んでおります。「まわらんしょ」閉所に際し、当社の亡き会長の言葉「明るく元気、素直、笑顔で感謝」を皆様にお送りいたします。



東日本大震災
ボランティアプロジェクト長岡
小森 幸子 様

いっしょにがんばっぺ！！
長岡自慢といえば「長岡大花火」そして花火に込められた「長岡魂」。幾度も戦争や大災害に遭いそこから立ち上がり復興を成し遂げてきた長岡人は、これからもずっとずっと皆様に応援し続けます。長岡での避難生活が懐かしい思い出となり、人の繋がり・縁の広がり拠点であったと思っただけのまで。勇気・陽気・元気！これからもいっしょにがんばっぺ！



トモエイ不動産商事
営業部長
酒井 哲也 様

東日本大震災により長岡に来られた方々が体育館等から借り上げ住宅へ移る際、住宅の提供でお手伝いさせていただきました。そのような中で介護の必要な方の住宅提供で、介護に関する知識の必要性を感じ長岡市社会福祉協議会主催のボランティア大学を受講し、相手の立場になって考えることの大切さを学び、体験させていただきました。今後も皆様が長岡で安心して生活できるよう協力していければと考えております。



金子法律事務所
弁護士 金子 直樹 様

震災から早くも3年経ちます。
この間、各種イベントや個別相談・訪問を通じ多くの方と知り合うことができました。
「闇が深くなるのは夜が明ける直前なればこそ」という思いで取り組みつつも、夜が明ける気配がない状況に落胆する日々の中で、反対に皆様の笑顔や言葉に励まされたことが一番印象に残っています。
今後も賠償や差止など引き続き震災の問題に関わる予定です。お気軽にお声掛けください。

楽しい思い出、たくさんできました！

まわらんしょ



ふくふく会



みに福



大根クラブ



つるしびなの会



▼ 皆さんの笑顔や姿勢から沢山の勇気をもらいました。私も負けずに頑張っていきたいと思います！（河内）

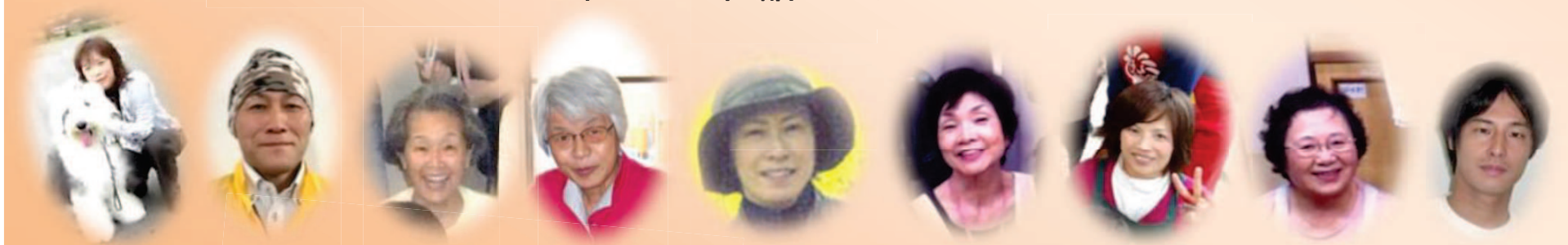
ボランティアの皆さん、ありがとう...♡



～いっぱい力を貸していただきました！～

- ・交流会、交流拠点、各種イベントの準備、当日の手伝い
- ・雪かき、雪下ろし、引越し、草取り、家の片づけ、掃除、住宅内のカビ取り
- ・支援品の提供、配布の手伝い ・福島県内、仮設住宅への訪問
- ・健康づくり支援(体操、整体等) ・野菜畑の提供から収穫

写真以外のたくさんのボランティアさんからも、ご協力いただきました。
本当にお世話になりました！



花いっぱいフェア
“花は咲く”
大合唱に参加

2013/5/25



提供品無料バザー

久しぶりの再会で
話もはずみました♪

2013/7/19. 20



ながおか防災フェア 2013
えんえんマーケット
おだかいさま広場 大成功☆

2013/10/6



▼ 辛い時、苦しい時、私の方が皆さんに励まされました。たくさんの思い出をありがとうございます。(関谷)

スタッフから一言…



センター長

羽賀 友信

東日本大震災の中で、福島の方々の避難が大混乱のうちに始まり、中越大震災を体験した我々は、どう皆さんに寄り添いお手伝いができるかを考えました。一番大切にしたのは、人に繋がる『安心』の提供から、具体的な問題解決へのお手伝いでした。中越では、故郷に帰ろうをキーワードに復興を進めました。福島はまだまだ先が見えませんが、このご縁を大切に、今後も皆さんの応援を続けたいと思います。



事務局長

諸橋 和行

「おだがいさまらて～」も最終号を迎えることになりました。発行に至る経緯を思い出すと、感慨深いものがあります。手書き白黒印刷の第1号と最新号を並べてみると、よくぞここまで進化・継続してきたものだと思います。

私は名前だけの「事務局長」でいられた幸せを強く感じています。思いにあふれた優秀なスタッフに支えてもらい、安心して任せてきました。改めて、スタッフの皆さん、本当にご苦労様でした。



事務局

中野 雅嗣

私は皆さんが長岡市に移り住まれた月からスタッフとして活動してきました。体育館で、お一人お一人とお話しをすることに始まり、交流の機会では一緒に笑い、共に悩み、何ができるのか、スタッフと試行錯誤を繰り返してきました。センターのスタッフとの関わりを通じ、迷いながらも皆さんが決断された新しい1歩は、必ず明るい未来につながる1歩だと信じ、心から応援しています。本当にありがとうございました。



スタッフ

富永 貴子

震災からもうすぐ丸3年ですね。「目の前にあるたくさんの問題、先の見えない不安を抱えている皆さんと一緒に私も少しずつ前を向いて進んでいきたい！」という気持ちで、スタッフとして1年半活動させていただきました。活動を通してできた皆さんとの繋がりをこれからも大切にしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。



スタッフ

田村 瑞穂

約2年間、主にまわらんしょや情報紙の編集・発行の担当をしてきました。震災が起きたからこそ出会い、四季のイベントを楽しんだりしてたくさんの思い出ができました。

いろいろな話を聞かせていただいて勉強になり、逆に私の方がお世話になったように思えます。ありがとうございました。

今後はプライベートになりますが、電話やメール、ランチや飲みでつながっていききたいなあ…☺と思っています。



スタッフ

佐藤 敏子

福島から長岡に避難された方々が行き先見えない不安な毎日の中で、一つでも希望の光が見いだせたらとの思いから、無力な私にも何かお手伝いをさせていただきたいと、活動を始めてもうすぐ3年が経ちます。

多くの出会いの中で「人は支えたり支えられたりしながら生きている」ことを実感し感謝しています。これから先も不安は尽きないと思いますが、一人で考え込まずに話を聞かせていただきたいと思っています。いつでも連絡してください、お待ちしております。